

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 6 月 19 日

【評価実施概要】

事業所番号	2170600510		
法人名	医療法人社団睦会		
事業所名	グループホーム昭和館まどか		
所在地	岐阜県羽島郡笠松町円城寺947-1 (電話) 058-387-8803		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成20年6月12日	評価確定日	平成20年7月15日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

木曾川の堤防が間近に見え、住宅や中小の工場、その間に田畑が混在する郊外農業地域の典型である立地環境にあり、母体である医療法人の一部門をなすグループホームである。周辺には複数の介護事業が運営され、各々が有機的に連携しながら、利用者や家族の安心と満足のある暮らしを支えている。ホームは広い空間を持つ木造平屋に3ユニットが区分され、各々が特徴を出しながら、食事作りなどに取り組みがみられた。また、外出の難しい重度化した利用者が空間を往来することで、機能訓練の一端を補い、利用者の個別性を尊重しながら、思いやりが通い合う暮らしが実践されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4） 職員を育てる取り組みは、外部研修参加を奨励している。研修は職員の自発性を尊重し、その成果は待遇に反映しており、資格取得も奨励している。地域のイベントにはその都度参加している。同業他社との実質的な交流は今後の検討課題となっている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）</p> <p>自己評価で提起された課題は、定例会議のなかで検討されている。改善課題は法人の意向とホームの希望が一致しないこともある。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4, 5, 6）</p> <p>運営推進会議は隔月に開催され、現状の報告、ヒヤリハットの事例検討、意見交換など、会議で提案、指摘された意見はホームの運営に活かされている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7, 8）</p> <p>家族からの意見や苦情を受け付ける仕組みを家族には丁寧に説明し、繰り返し伝えている。ホームの年間に行われる各種行事には家族を招待し、気楽に何でも話し合える場を設けているが、苦情意見にはつながっていない。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）</p> <p>地域のふれあい喫茶に出掛けたり、地域の行事への参加、ホームの行事への招待、チラシの配布、季節の花や野菜の差し入れを受けたり、日常の挨拶などで地域との交流に努めている。</p>
重点項目④	

【情報提供票より】 (平成 20 年 5 月 1 日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 4 月 1 日
ユニット数	3 ユニット 利用定員数計 27 人
職員数	18 人 常勤 14 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 17.8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,000 円	その他の経費(月額)	9,500~ 円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	800 円	

(4) 利用者の概要 (平成 20 年 5 月 1 日 現在)

利用者人数	27 名	男性 7 名	女性 20 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名
要介護3	8 名	要介護4	5 名
要介護5	5 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.6 歳	最低 63 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	愛生病院
---------	------

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会への貢献を目指し「思いやりがかよう同居人生活」を理念に掲げ、母体医療法人の「思いやりの医療」との連携により役割を持ち穏やかな暮らしに結び付けている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員が利用者と思いが通い合うように、理念を共有しながら誠意を持ったケアの実践に日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との付き合いは母体法人が窓口となっているため、ホーム独自の関わりは直接的にはないが、ホームで行う夏祭りなどには近隣にチラシを配りボランティアと共に参加を得ている。	○	ホームで自治会に加入することにより、地域の行事に積極的に参加し、交流の自由度や活動域の拡大に期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はユニット毎に意見をまとめ改善に取り組んでいる。外部評価については報告し、全職員での検討会の結論により解決に結び付くものから順位を決めて実施している。家族にも評価結果について意見を聞いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部からの視点を得るため、行政、民生委員、家族の出席により行われ、ホームの現況の報告をもとに話し合いが行われているが、地域メンバーの参加が不十分である。	○	地域の要人である自治会長や区長などにも参加してもらえるよう働きかけに期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	母体法人が行政との窓口を一括管理する体制になっているが、機能は有効に働いているため支障が生ずることなくホームにとっては効率的である。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時などの機会を活用し、報告に努めている。ホーム便りも発行しているが、全体的であるため利用者ごとの情報は不足しており、何らかの対応が求められている。	○	利用者個々の日常の暮らしの様子を伝える文書による連絡を加えることも検討されたい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や苦情を受け付ける仕組みを家族には説明し、繰り返し伝えている。ホームの各種行事には家族を招待し、気楽に何でも話し合える場を設けているが、苦情意見にはつながっていない。機会を捉え、たえず家族からの意見を求めていく姿勢である。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限に留めており、利用者への影響、ダメージに問題はない。職員の異動による利用者へ及ぼす影響を十分に認識し、ケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修には積極的に参加し、職員の技量の向上に取り組んでいる。資格取得には法人からの支援が得られるようになっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は管理者等が中心となり、介護職員が直接交流する機会が得られていない。	○	直接介護に携わっている職員にも交流の機会をあたえ、そこから学び、ケアの向上につながる企画に期待したい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の半数以上は母体の病院からの利用であり、一般の人もいきなりの入居という形をとっている。現状での対応は、フェイスシートや利用者・家族からの聞き取りで対応するよう職員間で共有している。入居前にホームを度々訪れてもらい徐々に慣れてもらうような体制は採っていない。	○	利用者が安心して、納得してサービスを利用するためにも、本人、家族、職員との関係をつくりながら利用に至るような対応に期待したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者の能力ややる気を引き出すため、調理の下ごしらえ、配膳、後片付けなど共に行っている。そうした支援のなかで信頼を築けるよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの生活歴や家族からの情報を得て、思いや意向の把握に努めている。裁縫、園芸などやりたい人には道具を用意し、墓参りなど特定の所へ行きたい人には家族の協力を得ながら支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人及び家族の希望を最大限に取り入れるため、十分な聞き取りを行い、その結果をチーム会議にかけ、よりよいケアに結びつく介護計画の作成をしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとの定期的な見直しに加え、期間内であっても、状態の変化に応じて随時見直しを行うことで対応している。その際、本人はむろんのこと家族や職員などの関係者と十分な話し合いを持ち行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体病院との入退院の連絡や送迎に加え家族へのサポートを行っている。利用者の求めがあれば買物時に近くの友人宅に立ち寄るなど出来る事は応えられるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	大半の利用者は母体病院をかかりつけ医としており、受診往診も24時間体制の対応となっているので、家族には安心感が得られている。他にかかりつけ医を持つ利用者には、変化に応じ、即家族に連絡することで対応している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の対応について、家族には、入居時に医師を交え、事前確認書を基に説明をしている。ただし、状況の変化に伴い思いの異なる場合が生じるので、時々話し合いの場を持ち、合意の確認、共有を図っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉がけを基本に利用者の尊厳が守られるよう、ミーティングでも度々確認を行っている。個人情報についてはもれないよう、取り扱いに注意を払い、安全な管理をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々の希望を尊重し、思い思いのホーム生活を楽しんでもらえるよう、さり気無く見守りで支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食事の準備から後片付けまで関わることは残存能力を引き出す面からも大切である。介助が必要な利用者も数名いるが、職員も共に食事をとりながら、味などに会話をはずませ、楽しい雰囲気ですべてしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴日を設け、就寝前に入ることや足浴などもできる。季節を感じてもらうため、菖蒲湯や葛湯など折々に実施している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備では、箸を配る人、配膳を手伝う人など各々分担し、一方、生花や大正琴を奏でる人、利用者一人ひとりが思い思いに過ごせるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者によっては散歩や外出の機会があるが、総体的に戸外へ出かけることが少ない。	○	利用者の重度化・高齢化が日常的な外出を困難なものにしていると思われるが、形を変えながらも戸外へ出られる機会を持つ取り組みに期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	敷地内及び建物内全てのドアは開放されている。外部への出口は玄関のみであるが日中は開放されており、利用者の行動パターンが把握されているので弊害は起きてない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	母体法人を中心に、消防、警察、近隣を巻き込み、連携した防火訓練が行われ、避難経路も決まっている。日中は周辺の企業から支援が得られるようになっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の食事摂取量、水分量を管理票で把握している。母体法人の管理栄養士の指導を受けながら、栄養バランスや適切なカロリーが摂取できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場所には季節の花が生けられ、畳の場所やソファにもたれ、ゆったりと気の合った者同士がくつろげる居心地の良い場所となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた仏壇や家具などが持ち込まれている。カレンダー、写真、時計などが程よく配置され個性が滲み出ている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。